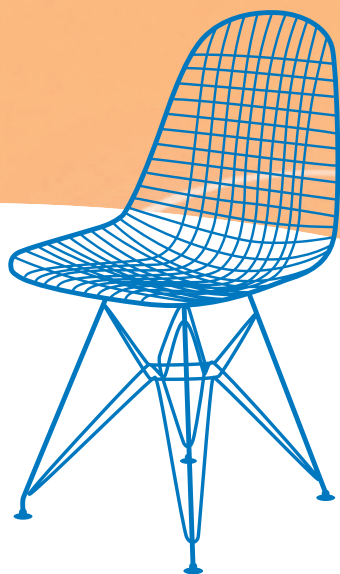




KRICEキャンパス鹿児島

令和8年度

授業交流(単位互換) コーディネート科目

受講生募集!!

鹿児島大学会場
鹿児島国際大学会場
志学館大学会場
第一工科大学会場
鹿児島県立短期大学会場 等

授業科目

1. 鹿児島データサイエンス実践
2. 避難生活に備える
3. 異文化コミュニケーション論
4. 発達心理学
5. 「医・食・健康2026」
6. 人間関係の科学
【Relationship Science】
7. 人間、動物、環境の健康:
One Healthの基礎
8. 人間と文化

開設大学

- 鹿児島大学
鹿児島大学
鹿児島国際大学
鹿児島国際大学
鹿児島純心大学
志学館大学
第一工科大学
鹿児島県立短期大学

■学生の皆様へ

- ・学校によっては取扱いに違いはありますが、単位を修得すれば、所属大学等の単位として認められますので、申し込む前に所属大学等に確認して、お申し込みください。
- ・この他にも多数の単位互換科目がありますので、詳しくは、所属大学等へお問い合わせください。
- ・開設大学と開設場所は、異なることがあります。

■一般の皆様へ

- ・左記6の科目は、一般の方も無料で聴講できます。
- ・授業科目開設大学へお気軽にお問い合わせください。
(単位認定や修了書の発行はいたしませんので、ご了承ください。)

主催:大学地域コンソーシアム鹿児島
連絡先:鹿児島大学学生部教務課教務係

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30
TEL:099-285-7351 FAX:099-285-8808
E-mail:kkyomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

科目名 鹿児島データサイエンス実践

授業概要

本授業は、データ解析を通じて社会課題の解決策を提案し、それを競争形式でプレゼンテーションすることを目的とする。そのため、データの選定、解析手法、視覚化技術の理解が不可欠であり、実践的なデータサイエンスのスキルを習得することを目指す。

授業は2つのパートに分かれる。前半は、広く利用されているデータ分析ツール「Tableau」を用いて、データ解析の基礎をオンデマンドで学ぶ。後半は、グループごとに社会課題をテーマに、Tableauを使ってデータ解析を行い、解決策を模索する。最後に、各グループが成果をプレゼンテーションする。

授業は教科書と配布資料等による講義と自己演習、課題レポートを組み合わせた形式で行う。

学習目標

- ・データの選定、解析手法、視覚化技術を理解し、適切に活用できる。
- ・データ分析ツールを用いたデータ解析を通じて、社会課題への解決策を提案できる。
- ・プレゼンテーションで、論理的に成果を発表できる。

授業計画

1. データサイエンスとは何かを理解する／オンデマンド授業
 2. Tableauの導入／オンデマンド授業
 3. Tableauの基本操作とデータハンドリング／オンデマンド授業
 4. Tableauによる解析と可視化（棒グラフ・時系列データ）／オンデマンド授業
 5. Tableauによる解析と可視化（クロス集計と表計算）／オンデマンド授業
 6. Tableauによる解析と可視化（マップ表現・その他のグラフ）／オンデマンド授業
 7. Tableauによる解析と可視化（2次元のデータと散布図、回帰分析）／オンデマンド授業
 8. 課題設定／対面
 9. 課題に沿ったデータの取得①／対面
 10. 課題に沿ったデータの取得②／対面
 11. データを解析・可視化し問題解決方法をさぐる／対面
 12. プレゼンテーション準備／対面
 13. プレゼンテーション準備／対面
 14. プレゼンテーション（コンペティション）／対面
 15. 振り返りと改善／対面
- ※期末試験は行わない（指定期日までにレポートを提出）

試験・評価方法

課題（提出物）：60点 プレゼンテーション：40点

担当教員 伊藤 昌和

開講場所 鹿児島大学郡元キャンパス（教室が決まり次第、お知らせします。）

開講期間 1～7回 オンデマンド：令和8年7月24日（金）～8月16日（日）
8～15回 対面：令和8年8月17日（月）～8月20日（木）

開講時間 12：50～16：00

単位数 2単位

成績発表時期 10月上旬

定員 100名

対象 ◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）の参加大学等の学生〔大学の学生（専攻科生、大学院生は含まない）、短期大学の学生（専攻科生を含む）、高等専門学校4年次生、5年次生及び専攻科生〕

特記事項 ◆ 一般の方の聴講：不可
◆ 申込先：所属大学等
◆ 申込期限：令和8年7月17日（金）
◆ 連絡先：鹿児島大学学生部教務課教務係〔電話099-285-7351〕
◆ その他：授業では個人のPCを使用します。またデータ分析アプリTableau（学生は無料）をインストールします。

科目名 避難生活に備える

授業概要

「災害時に自らが生き抜く素養」を身につけるためには、平時から災害に備えてさまざまな想定を行い、それらにおける対策を丁寧に立てかつ的確に実行できることが不可欠であることから、災害に係るさまざまな事象を理解し、そこに内在する特徴や課題について分析的に整理するとともに、実践的な活動を通じて、「生き抜く」こと、「健康を維持する」ことにかかわる知識・技術・態度を身につけることが重要である。

学習目標

- ・避難生活について、過去の災害事例等の解説にかかわる講義や自己演習を通じて、実態を把握し、地域に応じた課題を指摘できる。
 - ・避難生活を生き抜くことにかかわり、実践的な活動を通じて、野外活動の知識と技術を修得できる。
 - ・避難所生活にかかわり、具体的な状況下での避難所運営等をグループ討論し、その成果を発表できる。
 - ・野外活動、討論、発表を通して得られた成果を総合的にとりまとめたレポートを作成できる。
- テーマ別に編成されたグループで、これら4つの学習目標を達成できる。

授業計画

1. 7月11日(土) 10:30～12:00 事前説明会－オリエンテーション－
- 第1日目 9月8日(火) 鹿児島大学第二体育館玄関 8:50集合、9:30バス発
2. 「鹿児島市指定避難所の鹿児島大学第二体育館の視察等」
3. 「鹿児島県備蓄品等の視察及び鹿児島県防災研修センターの館内視察」
4. 「講義①－過去の災害における避難生活(1)」
5. 「講義②－過去の災害における避難生活(2)」
- 第2日目 9月9日(水) 鹿児島県立霧島ふれあいセンター
6. 「講義③－災害時にも生き抜くことができる野外生活」
7. 「野外生活演習①－身近なものでつくる生活用具とロープワーク」
8. 「野外生活演習②－火起こし体験と野外調理」
9. 「野外生活演習③－快適な生活空間づくり」
10. 「避難所運営演習①－収納可能人数(定員)の設定等」
11. 「避難所運営演習②－収容施設の実測等による検討等」
- 第3日目 9月10日(木) 鹿児島県立霧島ふれあいセンター
12. 「避難所運営演習③－避難者数と収納可能人数との収支」
13. 発表準備－避難所レイアウト、発表資料の作成
14. 発表会
15. まとめ－成績評価等について ※鹿児島大学17:00バス着

試験・評価方法

授業への取り組み40%、発表内容30%、レポート30%として評価を行い、それらを集計して最終評価とする。野外生活演習、避難所運営演習を通して、指定施設での避難所運営について調査し、グループ討論・発表とレポート作成を行う。

なお、発表及びレポートを合わせて評価するため、どちらか一方が欠けた場合、評価対象外とする。提出期限までにレポートを提出しなかった場合、評価対象外とする。

担当教員 岩船 昌起、川畑 和也

開講場所 鹿児島大学、鹿児島県防災研修センター、鹿児島県立霧島ふれあいセンター

開講期間 令和8年7月11日(土)、9月8日(火)～9月10日(木): 宿泊形式

単位数 2単位

成績発表時期 12月

定員 40名 ※先着順(バス乗車の都合上)

対象 ◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流(単位互換)の参加大学等の学生[大学の学生(専攻科生、大学院生は含まない)、短期大学の学生(専攻科生を含む)、高等専門学校(4年次生、5年次生及び専攻科生)]

特記事項 ◆ 一般の方の聴講: 不可
◆ 申込先: 所属大学等
◆ 申込期限: 令和8年6月26日(金)
◆ 連絡先: 鹿児島大学学生部教務課教務係 [電話099-285-7351]
◆ その他: 宿泊経費等が4,000～5,000円程度必要になります。

科目名 異文化コミュニケーション論

授業概要

地球上の誰もが文化の違いを超えて心を通わせ相互に理解しあえる方法があれば、これほど素晴らしいことはないが、現実の世界で起きている様々な出来事を見るにつけ、そんな魔法のような方法はどこにも存在しないことを認めざるを得ない。しかし、私たちが生きている21世紀のグローバル化した世界の持続可能性は、多様な文化の共存を認めあい、異文化間コミュニケーションの困難を克服しようとする各人のたゆみない努力にかかっていることもまた厳然たる事実である。主に英語圏における文化とコミュニケーションをめぐる多様な概念を理解した上で、その理解を異文化間コミュニケーションの様々な場面で活用し問題解決を図ることができるマインドセットを身につける。

毎回授業内で小グループに分かれてディスカッションを行い、留学生を含む多様なバックグラウンドを持った学生たちの異なる意見に触れることを通して自分の考えを深めてもらう。授業を通して実践的にコミュニケーションスキルが高められるようにする。

学習目標

1. 文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解している
2. 自分自身の文化的背景やその文化の特徴を客観的に把握する
3. 異なる文化的背景を持つ相手とも積極的に意思疎通を図ることができる
4. 文化の違いを認めあいながら議論や交渉に参加し自分の意見を述べることができる
5. 英語圏の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解している

授業計画

- 第1回 文化とは？
- 第2回 文化の可視性と不可視性
- 第3回 文化的偏見とステレオタイプ
- 第4回 文化の多様性：多民族・多文化・多言語社会
- 第5回 大学（学校）におけるコミュニケーション
- 第6回 性別役割分担と異性間コミュニケーション
- 第7回 英語圏の歴史、社会、文化（1）：ジェンダー
- 第8回 英語圏の歴史、社会、文化（2）：エスニシティ
- 第9回 英語圏の歴史、社会、文化（3）：階級
- 第10回 英語圏の歴史、社会、文化（4）：宗教
- 第11回 メディアと表象
- 第12回 異文化コミュニケーション論で時事問題を分析する
- 第13回 異文化交流体験の共有とディスカッション（1）：カルチャーショックと異文化受容
- 第14回 異文化交流体験の共有とディスカッション（2）：ステレオタイプと偏見を超えて
- 第15回 まとめ

試験・評価方法

レポート、授業中の意見発表および発言

担当教員

小林 潤司

開講場所

鹿児島国際大学

開講期間

前期集中講義期間【令和8年8月6日（木）～8月12日（水）】のうち4日間（予定）

開講時間

9：10～16：10（1限～4限）

単位数

2単位

成績発表時期

9月上旬

定員

20名まで

対象

◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）の参加大学等の学生〔大学の学生（専攻科生、大学院は含まない）、短期大学の学生（専攻科生を含む）、高等専門学校の4年次生、5年次生及び専攻科生〕

特記事項

- ◆ 申込先：単位互換生は所属大学等
- ◆ 申込期限：令和8年6月30日（火）
- ◆ 連絡先：鹿児島国際大学教務課〔電話099-263-0706〕
- ◆ ハイブリッド授業（対面＋オンライン）で実施する予定ですが、風水害などで対面授業が実施できない場合は、オンライン授業に切り替えて行います。

科目名 発達心理学

授業概要

発達心理学は、受精から死に至るまでの発達を研究する心理学の一分野である。私たちは自身に対する認知や他者との関係性を変化させてきた。もちろん、これからも変化させていく。認知や関係性のみならず、学習の成立や運動スキルの獲得にも発達に関係してくる。すなわち、発達心理学を学ぶことで、自身や他者を含めた人間への理解を深めることが可能になる。そして、それぞれの発達段階にある他者に対して、臨床的な支援を行うことが可能になる。

本授業では、発達理論だけでなく、人間の発達について、神経系、視知覚系、認知機能、思考、言語における発達と研究成果について学ぶ。また、子育てに関する悩みや虐待、発達障害など近年の問題についても取り上げる。さらに、本授業の学びを応用することを目的に、発達心理学の知見をこれまでの自身の体験や他者との関係性と関連づけ、それらを表現したり、他者の話を聞いたりする活動を行う。

学習目標

1. 各発達段階の発達特性を理解し、具体的に述べるができる
2. 各発達段階の発達特性を踏まえた上で、自身の体験や他者との関係性について表現することができる
3. 自身や他者との関わり方について、各発達段階の発達特性を踏まえて、自身の考えを表現することができる

授業計画

- 第1回 発達・発達心理学とは
- 第2回 生涯発達
- 第3回 神経系の発達
- 第4回 視知覚の発達
- 第5回 認知機能の発達
- 第6回 思考の発達
- 第7回 言語の発達
- 第8回 アタッチメント
- 第9回 子育ての悩み
- 第10回 子どもの虐待
- 第11回 児童～青年期の悩み
- 第12回 発達障害 1：自閉スペクトラム症
- 第13回 発達障害 2：注意欠如・多動症
- 第14回 発達障害 3：局生性学習症
- 第15回 神経関連疾患

試験・評価方法

毎時間の小レポート、授業中の意見発表および発言

担当教員 永富 大輔

開講場所 鹿児島国際大学

開講期間 前期集中講義期間【令和8年8月6日(木)～8月12日(水)】のうち4日間(予定)

開講時間 9:10～16:10(1限～4限)

単位数 2単位

成績発表時期 9月上旬

定員 100名まで

対象 ◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流(単位互換)の参加大学等の学生[大学の学生(専攻科生、大学院は含まない)、短期大学の学生(専攻科生を含む)、高等専門学校4年次生、5年次生及び専攻科生]

特記事項 ◆ 申込先：単位互換生は所属大学等
◆ 申込期限：令和8年6月30日(火)
◆ 連絡先：鹿児島国際大学教務課[電話099-263-0706]
◆ 原則、対面授業ですが、急遽オンライン授業へ切り替わる場合もあります。

科目名 「医・食・健康 2026」

授業概要

講義ごとに「医・食・健康」にかかわるテーマを扱い、学生自身が主体的に考え、広い視野と考察する力を身に付ける。

学習目標

大学における学修の姿勢や方法、多様な観点や考察する力を身に付けることがねらいである。

1. 学んだことを基に自分の意見を述べるができる。
2. 大学における学修する力を身に付け、自身の学修に活かすことができる。

授業計画

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ① 生活習慣病について | 【福岡真理】 |
| ② ひきこもりと健康 | 【米元富貴代】 |
| ③ 妊娠・出産・育児について | 【新福絵里香】 |
| ④ BLS心肺蘇生法 | 【奥平綾美】 |
| ⑤ (1) 食の安全・食中毒 (2) 熱中症 | 【松元圭太郎】 |
| ⑥ 食の科学と生命の質 — 糖尿病管理と嚥下咀嚼支援からの学び | 【牧山嘉見】 |
| ⑦ 食品ロス | 【山元有子】 |
| ⑧ 災害時の食事 | 【真邊久美】 |

試験・評価方法

講義ごとの課題による総合評価とする。

担当教員

看護栄養学部教員8名によるオムニバス形式

開講場所

鹿児島大学郡元キャンパス 共通教育棟1号館4階common room 3

開講期間

9月～12月の土曜日、1講義2コマの全16コマ

開講時間

1日1講義 (2コマ) 【午前】9:00～12:10
1日2講義 (4コマ) 【午前】9:00～12:10、【午後】13:00～16:10

単位数

2単位

成績発表時期

2月中旬

定員

15名程度 (受講者5名未満の場合は開講しません)

対象

◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流 (単位互換) の参加大学等の学生
[大学の学生 (専攻科生、大学院は含まない)、短期大学の学生 (専攻科生を含む)、高等専門学校の4年次生、5年次生及び専攻科生]

特記事項

◆ 特になし

科目名 人間関係の科学【Relationship Science】

授業概要 身近な事柄でありながら、複雑で予想困難な人間関係について、科学的な見地（心理学的研究）から明らかにされてきた法則性を紹介する。

学習目標 人間関係の法則性に関する科学的知見および、それらの知見を導き出す方法論の基礎について理解する。

授業計画

- (1) 人間関係の科学（第一回～第二回）
本来複雑で予想困難な人間関係において、法則性があるとすれば、それはどのようにして確かめられるものなのか。そしてその法則性はどの程度の「確からしさ」を持つものなのか。
- (2) 社会における自己（第三回～第四回）
人は「自分が何者か」を知りたいという根源的な欲求を持っている。人との関わりは、自分を知ることによってどのように影響するのか。
- (3) 対人関係の影響力（第五回～第十回）
人間関係と一口にいってもさまざまな種類がある。人と人はどのように関わり、影響を与え合うのか。
- (4) 集団と人間の関わり（第十一回～第十五回）
人間関係の多くは集団の中で取り結ばれる。人と関わるということの多くは集団と関わることを意味する。集団との関わりは個人にどのような影響をもたらすのか。

試験・評価方法 最終時間に試験を実施します。

担当教員 志學館大学人間関係学部 野上 真

開講場所 志學館大学本館

開講期間 令和8年8月25日（火）～8月28日（金）：集中講義（4日間）

開講時間 9：00～16：10（1限～4限）

単位数 2単位

成績発表時期 10月

定員 50人

対象 ◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）の参加大学等の学生〔大学の学生（専攻科生、大学院生は含まない）、短期大学の学生（専攻科生を含む）、高等専門学校（高専）の4年次生、5年次生及び専攻科生〕
一般の方（上記以外）。ただし、単位認定なし。

特記事項 ◆ テキストは使用しません。
◆ 申込期限：令和8年7月31日（金）

科目名 人間、動物、環境の健康：One Healthの基礎

授業概要

人間、動物、環境の健康が相互に関連しているOne Healthの概念を探求し、現代の大学生にとって関連性が高く興味深いグローバルヘルスの複雑な課題に包括的なアプローチを提供します。また、最新のトレンドや社会的課題に焦点を当て、批判的思考と問題解決能力を養い、多角的な視点からのアプローチを促します。

学習目標

- ① One Healthの基本概念を理解する。
- ② グローバルヘルスに関連する現代の複雑な課題について認識を深める。
- ③ 最新トレンドと社会的課題に対する理解を促進する。
- ④ 批判的思考と多角的な問題解決能力を養う。
- ⑤ 実践的な経験を通じて社会的責任とリーダーシップを発展させる。
- ⑥ 未来の健康課題に対する積極的な取り組みを目指す。

授業計画

- 第一回 コースの導入 - One Healthの概念と重要性
第二回 人間の健康 - 影響要因と公衆衛生
第三回 動物の健康 - 疫学と人間への影響
第四回 環境の健康 - 汚染、気候変動、生物多様性
第五回 病気の発生とグローバルパンデミック
第六回 フードシステムと食品安全
第七回 持続可能な食料生産と栄養
第八回 最新トレンドと課題

試験・評価方法

授業への積極的な参加：50% レポートの提出・発表：50%

担当教員 馬 麗娜

開講場所 第一工科大学鹿児島中央キャンパス

開講期間 令和8年8月第4週の金、土曜日

開講時間 9：00～16：10

単位数 1単位

成績発表時期 10月～11月

定員 制限なし

対象 ◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）の参加大学等の学生

特記事項 ◆ 特になし

科目名 人間と文化

授業概要

県立短期大学 3 学科の教員 7 名が、それぞれの専門分野から、さまざまな地域・時代における「文化」を異なる角度から考察する。7 日間の集中した期間に多角的な知見を学ぶことで、受講生にとって時代と社会の趨勢を理解する幅広い教養を身につけることを期待する。

学習目標

人間と文化について学際的に学ぶことにより、さまざまな事象を多面的に考察する姿勢を身につける。

授業計画

- 第 1 回 書くという行為：記憶の共有化と客観化（岡村（雄））
- 第 2 回 計算という行為：論証から説得へ（岡村（雄））
- 第 3 回 世界の森林と木材利用（前田）
- 第 4 回 日本の森林・林業の現状（前田）
- 第 5 回 小さな起業で生きていく（矢野）
- 第 6 回 「デザイン経営」を知る（矢野）
- 第 7 回 住空間と文化（1）近世と現代（田野）
- 第 8 回 住空間と文化（2）近代と現代（田野）
- 第 9 回 体育・スポーツ・健康と文化（1）スポーツとは（浜田）
- 第10回 体育・スポーツ・健康と文化（2）健康とは（浜田）
- 第11回 日本の「唱歌」その歴史と表現（竹本）
- 第12回 日本の「童謡」その歴史と表現（竹本）
- 第13回 異文化コミュニケーション入門—文化摩擦はなぜ起こるのか（石井）
- 第14回 異文化コミュニケーション実践—グローバル時代の文化適応（石井）
- 第15回 まとめ

試験・評価方法

レポート 2 つ (85%) と毎回の授業受講状況 (15%)

担当教員

岡村雄輝、前田千春、矢野俊樹、田野耕平、浜田幸史、竹本寛秋、石井英里子、福田忠弘

開講場所

鹿児島県立短期大学 3号館第10講義室

開講期間

令和8年9月10日（木）～9月18日（金）（9月12日、13日除く）

開講時間

18時～21時10分（19時30分～19時40分：休憩）

単位数

2単位

成績発表時期

11月～12月

定員

50名

対象

◆ 鹿児島県における大学等間の授業交流（単位互換）参加大学等の学生

特記事項

◆ 申込期限：令和8年7月30日（木）

全科目に共通のお知らせ

■ 教室の収容人員の関係で、定員に達し次第締め切らせていただきます。 ■ 各会場へは、公共交通機関でお越しください。

会場のご案内

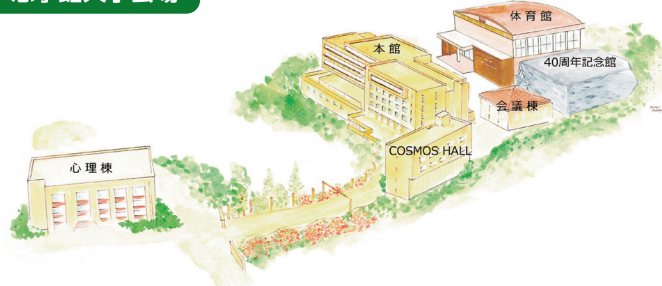
鹿児島大学会場



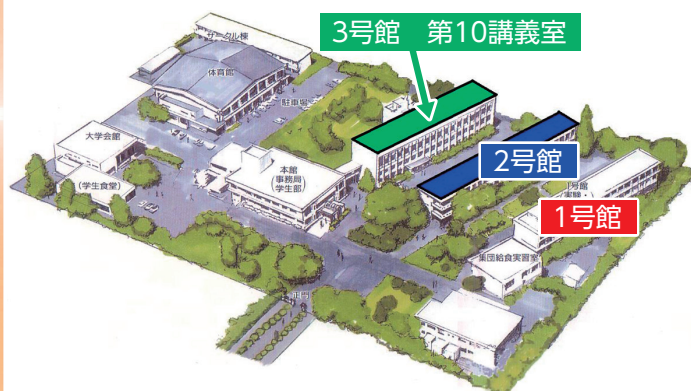
鹿児島国際大学会場



志學館大学会場



鹿児島県立短期大学会場



第一工科大学会場



「KRICEキャンパス鹿児島」について

「KRICEキャンパス鹿児島」は、鹿児島県内の6大学、4短期大学及び1高等専門学校が実施している単位互換制度です。(注1)

「KRICE」は、Kagoshima (鹿児島) Regional (地域) Intercollegiate (大学間) Credit (単位) Exchange (互換) の頭文字をとった名称です。

この単位互換制度は、各参加大学等が提供している地域性や独自性豊かな特色ある授業科目の中から、希望する科目を、科目開設大

学等(注2)で履修し、修得すれば所属大学等において単位として認定されます。

なお、検定料、入学料及び授業料は無料です。(但し、科目により所定の実習費等が必要な場合があります。)

また、コーディネート科目の他にも多数の単位互換科目がありますので、詳しくは、所属大学等へお問い合わせください。

(注1)参 加 大 学 等: 鹿児島大学、鹿児島体育大学、鹿児島国際大学、鹿児島純心大学、志学館大学、第一工科大学、鹿児島県立短期大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学、第一幼児教育短期大学、鹿児島工業高等専門学校

(注2)科目開設大学等： 単位互換制度に伴い、授業科目を提供する大学等

大学地域コンソーシアム鹿児島

連絡先:鹿児島大学学生部教務課教務係
TEL:099-285-7351 FAX:099-285-8808